

鹿児島市地区 大会運営における確認事項

令和4年7月15日更新

市バレーボールスポーツ少年団連絡協議会

鹿児島市スポーツ少年団事務局より通達された事項に基づき、市連絡協議会にて判断基準を以下のとおり明確にして実施する。

- ① 新型コロナウイルスの感染が再拡大し、行政指導等があった場合は大会を中止とする。また、その他感染状況等により中止する場合もある。
- ② 新型コロナウイルスの感染により参加チームの団員の学級及び学校が閉鎖している場合はその団員は参加できない。
- ③ 団員・指導者・保護者（以下「チーム関係者」という。）に発症者が出て、チーム内に濃厚接触者がいると判断された場合は、一定期間経過するまでそのチームは参加できない。また、濃厚接触者は自宅待機期間が明けるまでは参加できない。

※ ③の判断と期間については、保健所や学校等の指示に従うこと。
また、上記該当で大会不参加となる場合は必ず連絡協議会事務局へ報告すること。

※ 他の団員についても、参加を強制しないこと。
また、チームの判断として棄権する事はやむを得ない。

- ④ 団員等の健康管理と体温管理をより一層徹底し、以下の確認をすること。
 - 1) 大会8日前より検温と健康観察を行い、異常がないこと。
 - 2) 大会当日の検温と体調に異常がないこと。
 - 3) 大会当日のチーム関係者の「体育館入館者名簿（健康チェック表付き）」を受付時に提出し、参加可否のチェックを本部で受け、その判断に従うこと。
「体育館入館者名簿」は別途ホームページより取得し、当日提出すること。

⑤ 密の回避と入館者制限

- 1) 体育館施設は喜入総合と鹿児島市民、桜島総合、郡山は250名以内、吉田文化は400名以内で運用する。
- 2) 体育館施設の人数制限があるため、各チームの参加人数を制限することとするが、団員の健康管理も重要であり、鹿児島市スポーツ少年団通達の運用として団員の体調判断は保護者同伴が望ましいことから、保護者の人数を過度に制限しないこととし、以下の基準で運用する。

※ 基準を選手・指導者・保護者・応援者を合わせて1チーム30名を超えないこととする。小学校体育館使用時も同じとする。
会場確保状況によっては、人数が変更になる場合もある。変更の場合は事務局が連絡し、(④ 3)「体育館入館者名簿」にて確認する。）

鹿児島市地区大会における競技運営上の 新型コロナウイルス感染症の予防対策について

市バレーボールスポーツ少年団連絡協議会
競技部

- ① 開閉会式は行わない。表彰式は、原則コート表彰とする。
- ② 個人賞は本人のみ本部へ来て賞状を受け取ること。（チームでの本部あいさつは不要とする。）
- ③ 入館者は原則として全員マスク着用とするが、体調に応じて適宜マスクを外す等の対策をすること。ただし、団員についてはアップ及び試合中は着用しなくてよい。
なお、ベンチスタッフ・記録員・ラインジャッジ・点示員は原則マスク着用とするが、呼吸が苦しい状態にならないよう、必要に応じてマスクを外す等の対応をすること。
- ④ 審判チームは記録席に消毒液を準備すること。 試合球は定期的に除菌を行い、できるだけ交換しながら使用すること。
また、試合終了後、ラインフラッグ及び記録員と点示員のいすを除菌すること。
- ⑤ 試合開始及び終了時の握手はしない。（エンドライン上で一礼する。）
なお、コイントス時や審判の握手もしない。（一礼に変える。）
- ⑥ ベンチのいすは6脚とする。
- ⑦ コートチェンジの際は、ベンチスタッフでベンチごと移動させること。
また、試合終了後は選手がベンチを空けてから、ベンチスタッフがベンチの除菌をすること。 除菌は、団員にさせるのではなく、指導者や育成会など大人で行うこと。

※ 他にも各会場で独自の対策をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

【問合せ先】

鹿児島市バレーボールスポーツ少年団連絡協議会
会長 中山 (090-7923-1346)